

# 山形県小・中学校教育研究会 全報

## 第80号

編集・発行

山形県小・中学校教育研究会  
山形県中学校教育研究会

両事務局

平成三十一・二・九

中央印刷(株)

銅町一丁目 ☎631-5533

### 新学習指導要領の円滑な実施に向けて

山形県小学校教育研究会 会長 高橋 禎

山形県中学校教育研究会 会長 阿部 善和

今年度から、新学習指導要領に向けた移行期間が始まりました。全国校長会における文部科学省からの行政説明でも、「新学習指導要領の円滑な実施に向けて」の説明にかなりの時間が割かれています。

新学習指導要領改訂の考え方として「何ができるようにするのか」「何を学ぶか」「どのように学ぶか」があります。そのベースになるのが「社会に開かれた教育課程」です。その理念の一つ目として、学校で決めた教育課程を家庭や地域に知らせるだけではなく、教育課程編成のスタート段階から家庭や地域も関わることで、学校と家庭や地域が同じ方向を向いて、よりよい社会を創るという目標を共有していくことを目指しています。また、二つ目の理念として、「求められる資質・能力を明確化する」があります。教科はもちろん、総合的な学習や行事についても「どんな力をつけたのか」を再度吟味し、明確にする必要があります。このことについても、家庭や地域の実情や願いを加味して教育課程の編成に当たる必要があります。今までのように、「問題ないから前年度と同じ」では十分な教育効果は得られません。今までも「つけた力」は漠然と掲げたかも知れませんが、子どもや保護者に自信を持って「明確に」説明できることが必要になってきます。そのために、「つけた力」を吟味し、意見交換をし、「求められる資質・能力を明確化する」場として、本研究会は大きな役割を担っています。新学習指導要領の円滑な実施に向けて、よりよい社会を目指す教育を展開していきましょう。

### 平成三十年度以降山形県小・中学校教育研究会の運営について

◎ 七月十一日に行われた理事会において、次のことが確認されました。

一 山形県小・中学校教育研究会の位置づけについては、「平成二十一年度見直し検討委員会」において確認された事項に基づいている。

□ 平成二十一年度見直し検討委員会における確認事項

(一) 県小中教研は、会員からの会費とその他の収入で自主的に運営している団体である。

(二) 県小中教研は、東北や全国の研究団体の構成団体ではない。

(三) 県小中教研は、各研究部会の東北や全国の研究会の構成団体としての位置づけには関与しない。

(四) 県小中教研の各研究部会の東北大会等の運営に関する諸問題は、各研究部会で解決にあたる。

(五) 各研究部会の設置や改廃については、県小・中各教育研究会運営要綱の組織に関する事項のため、各研究部会の部会長の意見を勘案して理事会で決定する。

#### 二 大会開催に関する確認

(一) 大会開催の決定は、各研究部会が行うこと。

(二) 県小・中学校教育研究会では、各研究部会が開催する大会への事業補助金を、六年に一度支出する。

(三) 学校の統廃合と会員数の減少が進んでいることから、各研究部会では、既存の東北大会等の開催県ローテーションの見直しを積極的に行うこと。東北各県研究部会との意見交換を密にし、県内事情にあった東北大会等開催の検討を行うこと。

(四) 今後、各研究部会が東北大会等を開催する場合は、開催候補地区の研究会長や校長会と、十分な検討を行うこと。研究部会と地区は話し合いを持ち、研究会の大きさ、提供授業等を勘案し、総合的に判断すること。地区は、数年後の学校規模や統廃合の動きを見ながら引き受けないと、大変な負担につながる。開催地区の正式決定は、研究部会と開催候補地区との話し合いのもとに行うこと。

#### 三 その他

小学校英語部会の設置については、地区による状況が違う等から、各地区で活動の充実を図ることとし、県小中教研における新部会の設置は当面考えないこととした。

二〇一九年度 山形県小・中学校教育研究会理事会について

期日 二〇一九年七月三日(水) 十三時三十分  
会場 山形県教育センター・講堂

# 平成30年度 各部会の研究開催報告

●全国大会 ○東北大会 ○県大会 △協議会

No.	部会名	方法	実施月日	会 場	参加人数			研究テーマ	刊 行 物	
					小	中	他			
1	国 語	△	7.30	酒田市総合文化センター	30	20	10	生きてはたらくことばの力をつける国語学習		
2	社 会	△	11.13	舟形小中学校	10	20		(小)よりよい社会を形成していく力を育てる社会科学習 (中)かかわり合い、学び合う社会科授業		
3	算 数 数 学	△		地区ごと				創造性を育む算数・数学教育	山形県小中学校教育研究会 算数・数学部会報	
4	理 科	△		地区ごと					理科教育研究会報 No.175,176	
5	音 楽	◎	11.16	酒田市立松原小学校、酒田市民会館希望ホール	128	84	34	つなぎ合おう 人・思い・音楽 ～音楽学習の楽しさを求めて～	大会要綱・研究紀要	
6	図画工作 造 形	△	11.15	高島町糠野目生涯学習会館	30	30	50	いのち輝け 心に響く造形教育		
7	体 育	△	11.27	最上町富沢小	15	15	30	生きる力をはぐくむ体育学習を求めて	体育部会報44号	
8	家 庭	△		地区ごと				豊かな心と実践力を育み、未来を拓く家庭科教育	研究のあゆみNo54 家庭科部会だよりNo74	
9	技 術 ・ 家 庭	◎	11.16	米沢四中	2	186	32	よりよい生活を創造し、社会を生き抜く力を育む授業づくり～技術・家庭科における見方・考え方を働かせた学習指導～	大会要録、大会集録	
10	英 語	△	11.21	米沢七中	1	38	6	自ら求め、学びを高める生徒の育成 ～達成感・満足感を実感できる学びの場と振り返りの工夫～	英語教育	
11	道 徳	△	9.28	東根市さくらんぼタントクルセンター	22	81	29	道徳教育の新たな充実を目指して	大会要項 研修資料	
12	生 活 合 合	△	小：11.7 中：11.9	寒河江白岩小 鶴岡一中	30			小：生き生きと学ぶ子どもたちを育む地域素材の魅力 中：自己の生き方を問う主体的な学びの創造	総合的な学習部会部会報	
13	特 別 活 動	◎	11.14～15	ニューグランドホテル、新庄萩野学園	98	60	20	集団の一員として目的意識を持ち、自主的に活動する子どもを育てる特別活動	研究紀要	
14	書 写	△	11.26	山形教育用品本社	14	17	2	新学習指導要領が目指す国語科書写とは何か	研究紀要「書研」	
15	進 路 指 導	△	11.16	東根さくらんぼタントクルセンター		17		未来を拓く力を育てる ～自分を見つめ、共に生きる力を育むキャリア教育をめざして～	研究紀要「進路」26号	
16	メディア 教 育	△	11.13	新庄日新中		93		豊かな学びを支えるメディア教育	要項、指導案・研究のまとめ集	
17	図書館 教 育	△		地区ごと				夢・心・学びをはぐくむ学校図書館活用教育の推進	学校図書館だより68号 読書感想文集55号	
18	新 教 育	△	8.6	鶴岡市第三学区コミュニティセンター	20	8	1	基礎から学ぼう ワンランクアップの新聞づくり	第1分科会第2分科会 講習資料 新聞コンクール優秀紙	
19	特 別 支 援 教 育	△	【知・情】 8月 【言】 8月	庄内 山形市 (担当：最上)				【知・情】 〔小204、中41、他32〕 【言】 〔小55、他7〕	【知】一人一人の個性を伸ばし、生きる力を育てる支援の在り方 【情】人とかわる力を育む指導のあり方はどうあればよいか 【言】子どもをみつめ、ことばと心を育むための指導はどうあればよいか	会報9号 部会毎の研究集録
20	へき地 ・ 小規模	◎	10.4～5	本合海小・升形小、八向中、新庄市民プラザ	127	42	22	「ふるさとで心豊かに学び、新しい時代を切り拓く子どもの育成」～へき地・小規模・複式学級を有する学校の特性を生かした学校・学級経営と学習指導の深化・充実を目指して～	かたくりの花	
21	養 護	△	8.2	高島町立高島中学校	180	81	73	学校保健の推進と養護教諭の役割 ～専門性の共有と実践力の向上をめざして～	あしあと49集	
22	学 校 事 務	△	①7.27 ②9～11月	①山形テルサ公立小中学校事務職員研究協議会夏季研修会 ②地区ブロック研究会	①251 ②60～120 (地区毎)			未来を拓こう！子どもの育ちを支援する学校事務 ～連携・協働でつくる次世代の学校～	各地区研究のまとめ 会報「事務Tea Time」 メールマガジン	

# 平成31年度 各部会の研究開催報告

●全国大会 ○東北大会 ○県大会 △協議会

No.	部会名	方法	実施月日	会 場	参加人数			研究テーマ	刊 行 物
					小	中	他		
1	国 語	△	未定	最上	30	20	10	生きてはたらくことばの力をつける国語学習	
2	社 会	△	未定	北村山	20	20		よりよい社会を形成していく力を育てる社会科学学習	県・社・研
3	算 数 数 学	△		地区ごと				創造性を育む算数・数学教育	山形県小中学校教育研究会 算数・数学部会報
4	理 科	△		地区ごと					理科教育研究会報 No.177,178
5	音 楽	△		地区ごと				未定	県音連機関誌 「カンタービレ」
6	図画工作 造 形	△	11.25	山形市中央公民館	50	50	60	いのち輝け 心に響く造形教育	
7	体 育	△	11月	最上	50			生きる力をはぐくむ体育学習を求めて	体育部会報45号
8	家 庭	△		地区ごと				豊かな心と実践力を育み、未来を拓く家庭科教育	研究のあゆみ55 家庭科部会だより75
9	技 術 ・ 家 庭	△		地区ごと				よりよい社会を創造し、社会を生き抜く力を育む授業づくり	
10	英 語	△	11月	酒田三中				(仮)3年間を見通した中学校英語教育の在り方を探って～Can Doリストの活用を通して(小中連携の視点を含めて)～	英語教育
11	道 徳	△	9.27	東根市神町中	20	60	10	考えを交流し、学びを深める生徒の育成	大会要項及び指導案集等
12	生 活 合	○	10.18	河北町北谷地小	50			生き生きと学び続ける北谷地っ子をめざして(仮)	
		△	未定	鶴岡一中		13			総合的な学習部会部会報
13	特 別 活 動	△	12.3	鶴岡市内小中学校	30	30	10	集団の一員として目的意識を持ち、自主的に活動する子どもを育てる特別活動	研究紀要、研究集録
14	書 写	△	11.7～8	東北大会(仙台市)参加				一人一人に生きて働く力を育む書写指導	研究紀要「書研」
15	進 路 指 導			地区ごと					
16	メディア 教 育	◎	10.9	新庄日新小・日新中・わくわく新庄	230			豊かな学びを支えるメディア教育	要項、指導案・研究のまとめ集
17	図書館 教 育	◎	11.7～8	酒田十坂小、酒田東部中、酒田光陵高、東北公益文科大	150	50	50	豊かな心をはぐくみ、深い学びを支える学校図書館の創造～未来につながる“ことば”の力～	研究紀要 研究集録
18	新 聞 教 育	△	8.6	酒田市文化センター	20	10	1	基礎から学ぼう ワンランクアップの新聞づくり	分科会講習資料 新聞コンクール優秀紙
19	特 別 支 援 教 育	△	【地・情】 8月 【言】 7月	【知・情】 置賜 【言】 山形 (担当置賜)	【知・情】 〔小220、中50、他50〕 【言】 〔小60、他10〕			【知】一人一人の個性をのばし、生きる力を育てる支援の在り方 【情】人とかかわる力を育む指導のあり方はどうあればよいか 【言】子どもを見つめ、ことばと心を育むための指導はどうあればよいか	会報10号 部会毎の研究集録
20	へき地 ・ 小規模	△		地区ごと				ふるさとに夢や誇りを持って、未来の創り手となる心豊かな子どもの育成	かたくりの花
21	養 護	△	7.31	新庄市民プラザ 新庄市民会館	200	90	70	学校保健の推進と養護教諭の役割	あしあと50集
22	学 校 事 務	△	①8.2 ②10.11	①山形テルサ 公立小中学校事務職員研究協議会第3回研究大会 ②新庄市民プラザ 公立小中学校事務職員研究協議会秋期セミナーin最上	①350 ②160			未来を拓こう！子どもの育ちを支援する学校事務～連携・協働でつくる次世代の学校	研究のまとめ 会報「事務Tea Time」メールマガジン

〈参考〉

## 平成31年度以降研究大会長期計画

\*東北・全国大会の研究団体に加盟している部会  
 (●全国大会・東北大会・県大会 ○東北大会・県大会 ○県大会 △地区協議会)

No.	部会名	年度 開催 地区	31年度		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
			会	地区	会	地区	会	地区	会	地区	会	地区	会	地区
1	*国語	小中	△	最北	◎	最北	△	置賜	△	村山	○	村山	△	山形
2	*社会	小中	△	最北	△	最北	○	最北 (北村山)	△	西置賜	△	置賜	△	置賜
3	*算数・数学	小中	△	4地区	△	4地区	△	4地区	◎	東村山・上山	△	4地区	△	4位区
4	*理科	小中	△		△		△		△		◎	置賜	△	
5	*音楽	小中	△	4地区	△	4地区	△	4地区	△	4地区	○	山形	◎	山形
6	*図画工作・造形	小中	△	山形	△	北村山	△	田川	△	西置賜	◎	上山	△	最上
7	*体育	小中	△	最上	○	最上	△		△		●	山形	△	未定
8	*家庭	小	△	各地区	△	各地区	△	各地区	△	庄内	◎	庄内	△	各地区
9	*技術・家庭	中	△	各地区	△	各地区	△	最上	△	各地区	△	各地区	●	村山
10	*英語	中	△	酒田・飽海	△	西村山	●	山形	△	長井・西置賜	△	鶴岡・田川	△	北村山
11	*道徳	小中	△	北村山	△	山形	△	山形	◎	山形	△	庄内	△	庄内
12	*生活・総合	小中	○	西村山 鶴岡・田川	△	鶴岡・田川	○	置賜 酒田・飽海	△	酒田・飽海 酒田・飽海	◎	酒田・飽海	△	最北 置賜
13	*特別活動	小中	△	鶴岡・田川	△	鶴岡・田川	△	酒田・飽海	○	酒田・飽海	◎	酒田・飽海	△	米沢 東置賜
14	*書写	小中			△	村山			△	村山			△	村山
15	*進路指導	中			◎	村山			△	庄内			△	置賜
16	*メディア教育	小中	◎	最北	△	村山	△	村山	△	飽海	○	飽海	◎	飽海
17	*図書館教育	小中	◎	庄内	△	各地区	△	各地区	△	各地区	△	各地区	△	各地区
18	新聞教育	小中	△	酒田・飽海	△	新庄・最上	△	鶴岡・田川	△	酒田・飽海	△	新庄・最上	△	鶴岡・田川
19	*特別支援教育	小中	△	【知・情】置賜 【言】置賜	◎	村山	△	【知・情】最北 【言】庄内	△	【知・情】庄内 【言】置賜	△	【言】最北	△	【知・情】村山 【言】西村山
20	*へき地・小規模	小中	△		△		△		●	山形・各地	△		△	
21	養護	小中	△	最北	△	村山	△	庄内	△	置賜	△	最北	△	庄内
22	*学校事務	小中	△		△		△		○	山形	△		△	

☆地区名については、各部会によって決められており、それぞれ異なります。

☆ **地区名** には、研究大会補助金が配分されます。

## 研究大会補助費配分部会数

●全国大会			中1	小1・中2		中1
◎東北大会	小2・中2	小2・中3		小2・中1	小5・中4	小1・中1
○県大会		小1・中1	小1・中1	小1・中1		
合計	小2・中2	小3・中4	小1・中2	小4・中4	小5・中4	小1・中2